

**10月15日**  
**長寿と長年の貢献に感謝**  
**3人の方に100歳祝い状と銀杯を贈呈**



祝状を受け取る幕田さん(左)

平成22年度老人の日記念・100歳高齢者に対する内閣総理大臣からの祝状と銀杯の贈呈が10月15日に行われました。今年度の対象者は、幕田キクさんと河上テルさん、高橋おはるさんで、徳永町長から祝状と記念品の銀杯が手渡されました。

祝状と銀杯の贈呈は、今年度中に100歳を迎える方々の長寿を祝い、多年にわたり社会の発展に寄与してきたことを感謝するとともに、国民が高齢者の福祉について関心と理解を深め、高齢者が自らの生活の向上に努める意欲を高めることを目的に、毎年行われています。

平成22年度老人の日記念・100歳高齢者に対する内閣総理大臣からの祝状と銀杯の贈呈が10月15日に行われました。今年度の対象者は、幕田キクさんと河上テルさん、高橋おはるさんで、徳永町長から祝状と記念品の銀杯が手渡されました。

**10月15日**  
**地元のおいしさを再確認**  
**町内小中学校でふるさと給食**



地元の食べ物っておいしいね

地場産の食材を生かした学校給食が10月15日、町内小中学校で提供されました。釧路管内町村会で検討してきた、活力ある農畜産業プロジェクトの一環です。10月を「くしろふるさと愛食月間」とし、各地域の特色を生かした学校給食を通して、地産地消や「食の安全・安心」に対する意識の向上を図ることが目的です。

この日のメニューは、地元産の野菜などを使ったラーメンと、弟子屈町4日クラブが考案・普及させた牛乳もち、弟子屈町地域ブランド化推進実行委員会から提供された地元産の牛乳。「とてもおいしい」と、児童・生徒に好評でした。

地場産の食材を生かした学校給食が10月15日、町内小中学校で提供されました。釧路管内町村会で検討してきた、活力ある農畜産業プロジェクトの一環です。10月を「くしろふるさと愛食月間」とし、各地域の特色を生かした学校給食を通して、地産地消や「食の安全・安心」に対する意識の向上を図ることが目的です。

**10月17日**  
**ふるさとの素晴らしさを再発見**  
**秋の名木ツアー**



見事な名木に見入る参加者

2006年に町が指定した名木を巡るツアーが10月17日に開催されました。春のツアーに続いて、今年度2回目のツアーです。

今回は根釧西部森林管理署との共催で、釧路市からの参加者も含め40人が参加。名木の選考委員長を務めた須田文男さんから、樹齢などの説明を受けながら見学しました。天候にも恵まれ、参加者は秋深まる紅葉に映える名木に見入っていました。また、普段なかなか行くことのできないキムトームを訪れ、その神秘的な佇まいに感嘆する声が聞かれました。

2006年に町が指定した名木を巡るツアーが10月17日に開催されました。春のツアーに続いて、今年度2回目のツアーです。

**10月16日**  
**地球温暖化や酸性雨って何だろう**  
**小学生が環境学習会で環境づくりを学ぶ**



自転車発電に挑戦する児童

放課後児童クラブに通う小学生を対象とした町主催の環境学習会が10月16日、弟子屈小学校体育館で行われました。

環境に対する意識を高め、未来の環境づくりを考えてほしいと、地方独立行政法人北海道立総合研究機構環境科学センターの協力で開催したものです。北海道の環境についての講演が行われたほか、実際に二酸化炭素を量ったり、自転車発電を体験したりしました。普段できない体験を通して、児童はエネルギーの大切さなどを実感した様子でした。

放課後児童クラブに通う小学生を対象とした町主催の環境学習会が10月16日、弟子屈小学校体育館で行われました。

**10月23日**  
**これまでの練習の成果を披露**  
**摩周おこと子ども教室のミニコンサート**



観客の前に練習の成果を披露

摩周おこと子ども教室(辻谷武喜代表)のミニコンサートが10月23日、福祉センターで開催されました。

町内で初めての文化庁委託事業として6月に開講した同教室では、小学校1年生から中学校3年生までの子どもたち20人が、箏(そう)の演奏を学んできました。ミニコンサートは、全10回の教室が10月で終了する記念に開催されたものです。子どもたちは「さくらさくら」「チューリップ」など、これまで一生懸命に練習してきた成果を披露。「夕やけこやけ」ではアンコールの声がかかるなど、観客の皆さんから大きな拍手が贈られていました。

摩周おこと子ども教室(辻谷武喜代表)のミニコンサートが10月23日、福祉センターで開催されました。

**10月18日**  
**聖月流日本吟剣詩舞道会川湯支部の小学生**  
**全道新人コンクールで2人が優勝**



優勝を報告する谷田さん(左)と阿部さん(右)と阿部さん(真ん中)

聖月流日本吟剣詩舞道会川湯支部(鈴木幸栄代表)所属の小学生2人が、10月10日に岩見沢市で行われた同派の全道吟詠詩舞大会新人コンクールで優勝しました。

優勝したのは、詩吟の部第1部で谷田優花さん(弟子屈小4年)、詩舞の部第1部で阿部奈央子さん(美留和小6年)です。谷田さんは、剣詩舞(踊り)は1年生から始めましたが、詩吟の吟詠を始めたのは昨年のこと。阿部さんも剣詩舞を始めたのが昨年で、2人とも1年余りで優勝という快挙です。10月18日に優勝の報告のため役場を訪れた2人は「緊張しないでできたのでよかった」と話していました。

聖月流日本吟剣詩舞道会川湯支部(鈴木幸栄代表)所属の小学生2人が、10月10日に岩見沢市で行われた同派の全道吟詠詩舞大会新人コンクールで優勝しました。

**9月15日**  
**かわいらしいプレゼントに笑顔**  
**川保園児が川湯の森病院の敬老会に参加**



お年寄りの前で元気いっぱい踊る園児

川湯保育園(清水節子園長)の園児が9月15日、川湯の森病院の敬老会に参加し、入院しているお年寄りと交流を深めました。園児の敬老会への参加は、今回が初めてです。

敬老会では、入院しているお年寄りのうち米寿(88歳)、喜寿(77歳)を迎えた方に、折り紙などで作った手作りのカードをプレゼント。また、かわいい踊りも披露し、皆さんは目を細めて眺めていました。

川湯保育園(清水節子園長)の園児が9月15日、川湯の森病院の敬老会に参加し、入院しているお年寄りと交流を深めました。園児の敬老会への参加は、今回が初めてです。

**カメラスケッチ**  
**広報が行く!!**



このページは皆さんからの情報で作られています。どのような情報でもすぐ反映させます。お気軽にご連絡ください。

企画財政課企画係 ☎482-2913(課直通)

**10月14日**  
**災害対応型自動販売機で地域防災力を強化**  
**北海道コカ・コーラボトリングと協定を締結**



自販機の電光掲示板で情報発信

北海道コカ・コーラボトリング(角野中原代表取締役)と町が「災害対応型自動販売機による協働事業に関する協定」を締結しました。

協定書手交式は10月14日、役場で行われ、同社釧路事業所の田中民一所長と徳永町長が協定書にサインしました。その後、協定に基づき役場ロビーに設置された災害対応型自動販売機の前で、点灯式が行われました。自販機は、搭載する電光掲示板で防災や災害、地域に関する情報が提供されるほか、緊急時には自販機内の飲料を無料で地域の方に提供するなどの機能があり、地域防災力強化に役立てられます。

北海道コカ・コーラボトリング(角野中原代表取締役)と町が「災害対応型自動販売機による協働事業に関する協定」を締結しました。

**9月29日**  
**道行くドライバーに安全運転を呼び掛ける**  
**明盛建設による街頭啓発**



ドライバーに安全運転をお願いします

明盛建設(藤田文明代表取締役)の皆さんが9月29日、国道241号の道の駅摩周温泉近くで、道行くドライバーに安全運転を呼び掛ける街頭啓発を行いました。

社会貢献活動として、秋の全国交通安全運動期間に合わせて、毎年行っているものです。この日は、社員など48人が参加。ドライバーに、交通安全のリーフレットと地元産ジャガイモなどを手渡し、安全運転を呼び掛けていました。

明盛建設(藤田文明代表取締役)の皆さんが9月29日、国道241号の道の駅摩周温泉近くで、道行くドライバーに安全運転を呼び掛ける街頭啓発を行いました。

**10月15日**  
**酪農のこともっと知ってね**  
**J A 青年部が弟小で酪農授業**



牛の模型と搾乳機で搾乳を体験

J A 摩周湖青年部(吉田一徳部長)の皆さんが10月15日、弟子屈小学校(伊藤新一校長)の5年生を対象に、酪農授業を行いました。

町の基幹産業である酪農への理解を深めてほしいと開催したものです。牛の模型と搾乳機を使っての搾乳や、トラクターとの綱引きを行った後、牛の餌や牛の体についての説明などが行われました。1頭の牛から、1日に20~30リットルの牛乳を搾ると聞いた児童は、驚いた様子でした。終了後は、部員と児童と一緒に給食を食べ、交流を深めました。

J A 摩周湖青年部(吉田一徳部長)の皆さんが10月15日、弟子屈小学校(伊藤新一校長)の5年生を対象に、酪農授業を行いました。

**10月14日**  
**松浦武四郎を通じて交流**  
**松阪市小野江小から弟小にプレゼント**



小野江ってどんなところだろう

幕末から明治にかけて活躍した探検家であり、北海道の名付け親でもある松浦武四郎の生地、三重県松阪市立小野江小学校の全児童から10月14日、弟子屈小学校(伊藤新一校長)の児童に、手紙と児童が育てた野菜のプレゼントが届きました。

松浦武四郎にゆかりの深い町同士、交流を深めたいと松阪市教育委員会から提案があり、準備を進めてきた中で突然の贈り物に、先生方はじめ児童もびっくり。小野江を紹介した内容の手紙などは玄関前に飾られ、児童が毎日うれしそうに眺めています。今度は弟小からも手紙などを送りたいとのこと。

幕末から明治にかけて活躍した探検家であり、北海道の名付け親でもある松浦武四郎の生地、三重県松阪市立小野江小学校の全児童から10月14日、弟子屈小学校(伊藤新一校長)の児童に、手紙と児童が育てた野菜のプレゼントが届きました。